

経営比較分析表（令和4年度決算）

福岡県 田川広域水道企業団

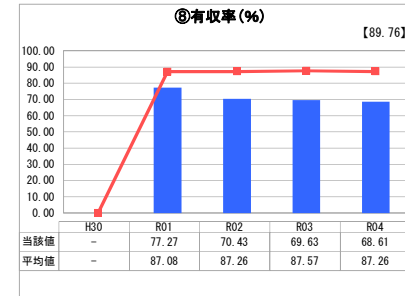
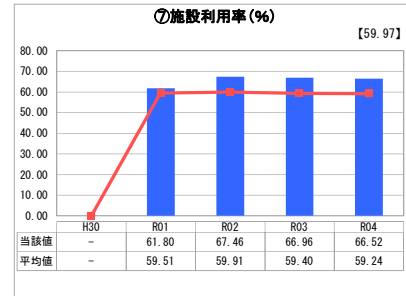
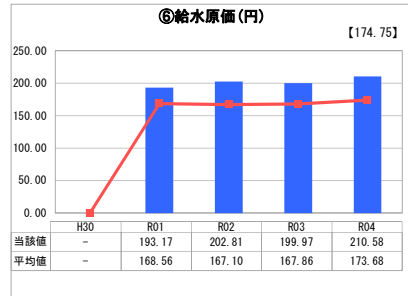
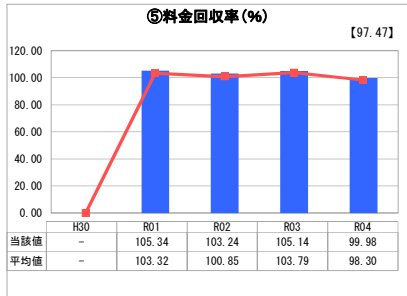
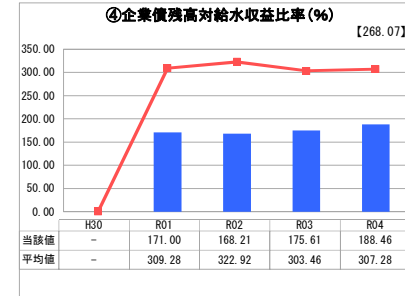
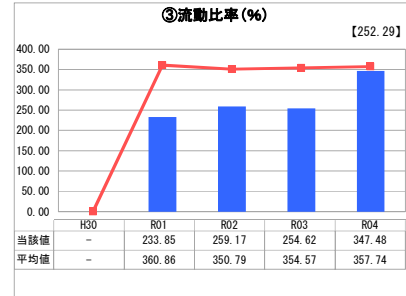
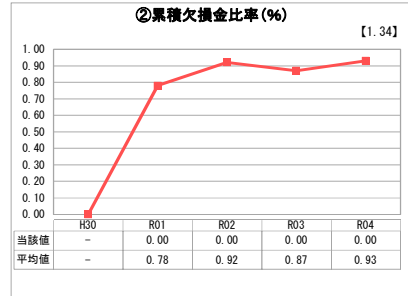
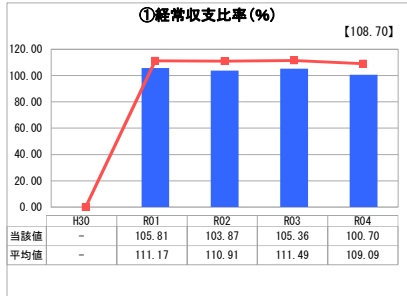
| | | | | |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A4 | その他 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 77.84 | 96.77 | 3,990 | |

| | | |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
| - | - | - |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 88,001 | 82.66 | 1,064.61 |

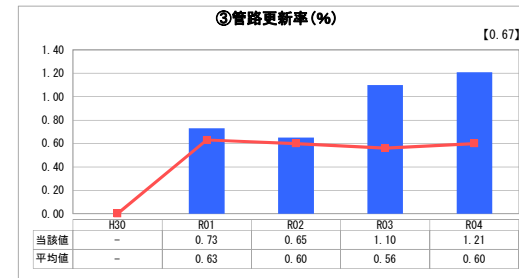
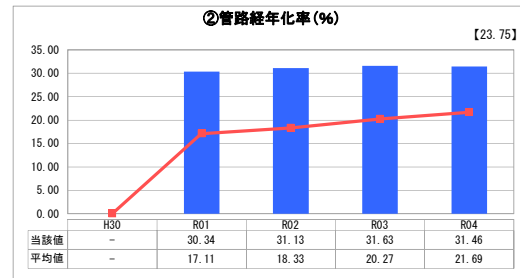
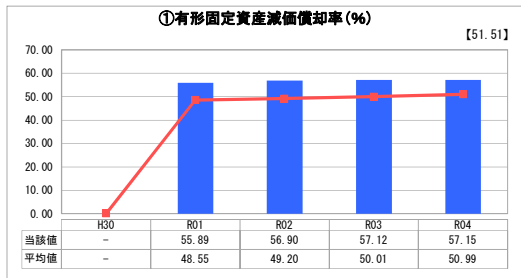
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は単年度黒字を示す100%を超えており、また、流動比率は短期的な支払い能力があることを示す100%を超えているがいずれも類似団体平均を下回っている。
- ・累積欠損金は発生していない。
- ・料金回収率が減少した要因は、給水原価の上昇によるもので、主たる原因は事業統合による施設の統廃合に伴う固定資産の除却に係る費用及び電力価格高騰による動力費の増が原価を上昇させていると考えられる。
- ・一日配水能力に対する一日平均配水量の割合を示す施設利用率は、類似団体平均を上回っている。
- ・施設の稼働が収益につながっている割合を示す有収率は、類似団体平均を1.8%程度下回っている。

2. 老朽化の状況について

- ・老朽化を表す3つの指標は、いずれも類似団体平均を上回っており、老朽化が進んでいる状況である。

全体総括

平成31年4月1日に1企業団の用水供給事業及び4市町の末端給水事業について経営の一体化を行い、令和5年4月1日に事業の統合及び料金改定を行う。

今後、給水人口の減少に伴う厳しい経営状況となることが予測されることに加え、老朽化の進んだ施設の更新等、多額の費用を要する更新事業に対し、国の交付金制度の活用など、事業統合のメリットを生かして、「健全な事業経営の継続」と「住民負担の増加の抑制」を図り、効率的かつ安定的な水道事業の経営を進めていく。